



学校だより 神橋

9月号

令和8年8月

横浜市長つみはししょうがっこう
横浜市立神橋小学校



子どもたちの未来を思う

校長 佐々木 希

40日間の長い夏休みが明けました。登校初日に「今日の気分は?」と聞くと「友達に会えてうれしいよ!」と答える子、クラスで「夏休みの思い出すごろく」をして盛り上がる子、「これでいいのかな?」と友達と相談しながら学習を進める子、そんな姿を久しぶりに見て、子どもたちが安心して生き生きと過ごせる学校づくりに向けてのエネルギーをもらっています。

現在、2030年度完全実施の次期学習指導要領に向けて、文部科学省を中心に議論されているところですが、この夏、教職員も様々な研修でその方向性について学びました。変化の激しい現在とこれからの時代には、「主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りする」ことが必要だとされています。夏休み明けも、「どうしたい?」「そのためにはどうすればいい?」等の主体性を促す声かけや、「ありがとう!」「その考えおもしろいね!」等の個を受容する声かけをますます大切にしていきたいと考えます。また、学び方も含む確かな知識や、経験による実感・納得感が土台となるからこそ、よい思考が生まれることを忘れずに、人と関わり学び合う場面を意識的につくっていくことを教職員と確認しました。これからも、子どもたちの未来を思い、共に子どもたちを支えていきたいと思っています。

夏休み中に 南門近くの花壇が生まれ変わりました!

くずれかけた花壇が...



Before

こんなにきれいな花壇に!



After

地域の方が作り直してくださったのです



神橋の子どものため、そして
140周年の神橋小のためですよ!



オオシマザクラの木も植えてくださいました。

本当にありがとうございました!